

EAO 2018における海外論文発表



豆野智昭*

Presentation at EAO 2018

Key Words : Dental implant, Bone loss, Epidemiology

<参加会議名> 27TH Annual Scientific Meeting of the European Association for Osseointegration

<開催場所> オーストリア ウィーン

<渡航期間> 2018年10月10日～10月15日

<発表タイトル> Longitudinal study on risk factors for peri-implantitis using multivariate analysis.

10月11日から10月13日の3日間、オーストリアのウィーンで開催された27TH Annual Scientific Meeting of the European Association for Osseointegrationに参加しました。本学会は、歯科インプラント関連学会として世界有数の規模を有し、臨床医・研究医にとって非常に有益な学会となっています。今年は、開催国内の3ヶ所の施設と学会会場を中継し、最新の歯科インプラント治療をリアルタイムに会場から見学するという新しい試みがあり、活気のある様々な討論がなされていたことが印象に残っています。

今回私は、歯科インプラントの周囲骨吸収に関する研究について、口頭発表を行いました。英語での口頭発表は今回が2回目であり、未だに不慣れな部分はあったものの、自身の研究内容について十分にアピールできたのではないかと感じています。発表後の討論では、私の研究分野において高名な先生から質問をいただき、議論をすることができました。

世界で活躍されている先生方と直接交流を持つことができたことは、私にとって非常に大きな刺激となりました。この経験を今後の糧とし、歯科補綴治療の進展に貢献できる研究を続けていきたいと考えております。

最後になりましたが、本発表にあたり、海外論文発表奨励賞に選出していただきました生産技術振興協会様に、この場をお借りして心より感謝申し上げます。



口頭発表の様子



発表会場の風景



医局の先輩方と共に会場前で記念撮影



メイン会場の風景

* Tomoaki MAMENO

1988年12月生まれ

大阪大学歯学部（2014年）

現在、大阪大学大学院 歯学研究科

口腔科学専攻 頸口腔機能再建学講座

有床義歯補綴学・高齢者歯科学分野

大学院生4年（D4）

TEL : 06-6879-2954

FAX : 06-6879-2957

E-mail : mameno@dent.osaka-u.ac.jp